

# エンドウ (マメ科)

| 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月  | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 |
|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|-----|----|----|
|    |    |    | 収穫 |    |    |    | タネまき |     |     |    |    |

## 品 種

〔サヤエンドウ〕 成駒三十日、仏国大さや

〔実エンドウ〕 久留米豊、南海緑、ウスイ、白竜

〔スナップエンドウ〕 ジャッキー

## 栽 培 ポ イ ン ト

マメ科の野菜で、連作はできません。3～5年間隔の輪作をします。エンドウは酸性に弱いので、苦土石灰をまいて土を中和しなければなりません。タネまきは早すぎると、育ちすぎて寒害を受け、おそすぎると草丈も低く収穫が少なくなります。よって11月上～中旬が標準です。

マメ科植物ですから、窒素肥料はやせ地や砂地以外はあまり必要ありません。肥えている畑なら肥料なしでもかまいません。やせている畑にはリン酸とカリを重点に元肥をやりま。

12月中旬ごろに防寒のために株の周囲に堆肥、もみがら、切りわらなどを敷きます。春先にはつるが伸び始めるので、2月下旬に支柱を立てます。水はけの悪い畑は、春の雨で水につからぬよう排水をよくします。

実エンドウは子実がよく充実してから収穫しますが、サヤエンドウはまめに見回って、若さやのうちに収穫しないと、かたくなります。

たくさんとれたときは、さっと塩ゆでして冷凍しておきます。

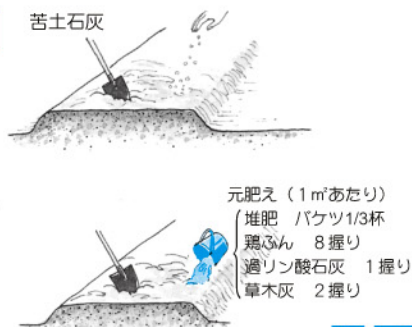
## 栄 養

ビタミン類、カルシウムを多く含みます。

### 1 畑の準備

畑には、1㎡あたり2握りの苦土石灰をまいて土を耕しておく。

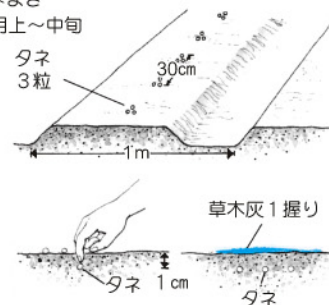
やせた畑には、タネまきの10日前に元肥えをまき、土とまぜて、1㎡幅の畝を作る。



### 2 タネまき

タネまき  
11月上～中旬

畝の中央に、30cm間隔で、1条にタネをまく。タネは1カ所に3粒ずつまき、覆土したのち、その上に草木灰を1握りまいておく。



### 3 防 寒

エンドウは寒さには比較的強い方だが、厳寒期に入る前に、株の周りに、堆肥、もみがらなどを敷いて、簡単な防寒をする。

12月上～中旬に堆肥、もみがら、切りわら、サツマイモのつるを切ったものなどを敷く



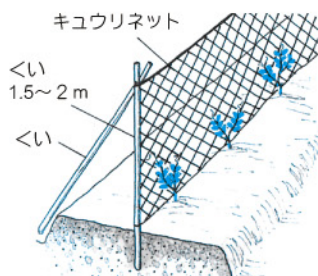
### 4 土 寄 せ

12月、1月の2回、株元に土寄せする。2月下旬になると、株元のわき芽が立ってくるが、勢いが悪いようなら、液肥を施す。



### 5 支柱立て

春になると、急に伸び出すので、その前に巻ひげがからみつけるように支柱を立てる。キュウリネットを使うのが簡単だが、ひもを張って代用することもできる。



#### 主な病害虫

- ◆病気 うどんこ病、褐斑病
- ◆害虫 ヨトウムシ、エンドウハモグリバエ、エンドウゾウムシ

### 6 収 穫

#### 実エンドウ

子実がよく充実し、さやがふくれて表面が光沢を失い、ざらざらするようになったときに収穫する

#### サヤエンドウ

さやが平らで、外から子実の形があまりはっきり分らないうちに収穫する

#### スナップエンドウ

若さやのうちから収穫できるが、子実が大きくなって、さやの断面が円形になるくらいふくらんだころが収穫時期

